

## 令和4年度 事業報告

昨年度は、前年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大がひとり親家庭の生活を巻き込み、経済面や子育てなどで苦しい状況が続いた。協議会の事業運営においても感染拡大の影響を受けつつも、東京ムーヴ事業や企業団体の支援によるイベント・招待事業など、実施可能な取り組みについては、令和3年11月から新型コロナウイルスの感染状況を見極めながら、一歩ずつ事業を再開し、目標であった毎月実施を達成することができた。

また、東京都から受託している東京都ひとり親家庭支援センター事業においては、コロナ禍の中で困難な状況にあるひとり親世帯に対して、前年度に引き続き丁寧できめ細かい相談対応に努めた。

### I 実施事業等

#### 1 ひとり親家庭支援センターはあと多摩事業（東京都委託事業）

東京都が厚生労働省の実施要綱に基づき行う「東京都母子家庭等就業・自立支援センター事業」として、ひとり親家庭等に対する就業支援、各種相談事業を実施した。

##### (1) 就業支援事業

###### ア 就業相談

相談者が主体的に課題解決や求職活動ができるよう、就業相談員による電話、メール、面接（来所、オンライン）による相談を行った。相談は年末年始を除いて受け付けた。

( )内は前年度数値

来所相談	214 (159) 人
	348 (283) 件
電話相談	618 (387) 人
	904 (583) 件
メール等	1,022 (444) 人
	1,230 (694) 件
オンライン相談	27 (13) 人
	34 (17) 件

###### イ 就業促進活動

ひとり親家庭の母子・父子の就業を促進するため、次の事業に取り組んだ。

- 〔求人事業所への助成金の周知〕求人事業所に対してひとり親の就業への協力を依頼し、該当者の採用時には特定就職困難者雇用開発助成金を受けられることを周知した。
- 〔定着支援〕個別事情に配慮して、就業後においても必要に応じて定着支援を随時行った。
- 〔起業相談〕起業による自立を支援する相談を実施した。  
4名
- 〔適職診断〕自己理解を促し、就業につなげるため行った。  
13名
- 〔小論文対策〕ひとり親の就職活動や看護学校等受験、子どもの受験や奨学金申込みのための論文指導を行った。  
24名 83回  
親： 看護学校合格1名、看護学校一次試験合格3名、  
短期大学合格1名、看護師就職1名  
子： 大学合格2名、高等学校短期留学1名
- 〔就業支援講習会〕就業に必要な知識技能としてパソコン操作の基礎、応用、ワード、エクセル、パワーポイントの基本操作等についての3日間（18時間）の講習会を開催した。  
4回、37名

#### ウ キャリアアップ支援

- ライフプランセミナー  
6回開催、98名参加

#### エ 就職情報提供

求人情報やキャリアアップのための職業訓練、行政機関の支援制度等の情報を面談時、ホームページ、メールマガジン等で提供した。

#### オ 求人、求職、就業実績数

- ① 求人 151件、571人
- ② 就業実績数 33人
- ③ 求職登録者数 127人

#### (2) 生活相談事業

仕事や育児に追われ様々な問題を抱えながら、身近な相談相手を必要とするひとり親家庭の親などに対し、相談を実施した。 ( )内は前年度数値

来所相談	232 (189) 人 793 (574) 件
電話相談	1,040 (730) 人 2,391 (1,482) 件
メール等	620 (245) 人 1,172 (586) 件
オンライン相談	38 (11) 人 98 (23) 件

### (3) 離婚前後の法律相談

子どもがいる母親または父親を対象に、弁護士による離婚前後の法律相談を行った。「パル法律事務所」との委託契約により家事事件に精通した弁護士が当たった。

実施日数 50 日、実施時間 132 時間、相談人数 132 (45 0/L) 人、433 件  
相談内容 離婚・親権・婚姻費用 123 件、 養育費の増額・減額 75 件  
財産分与 66 件 など

### (4) 養育費相談事業

- ①一般相談 離婚後の子供の養育費相談 196 人、479 件
- ②専門相談 専門相談員 72 日、172 人 (32 0/L) 人、476 件

### (5) 面会交流支援事業

離婚後（離婚成立前も含む）の親と子の面会交流を希望し、双方の合意がある場合に、面会交流支援を実施した。専門機関である公益社団法人家庭問題情報センターに委託した。

相談件数 187 件、計画調整の支援 185 家族、交流実施の支援 15 家族

### (6) ひとり親グループ相談会【はあと多摩】

ひとり親同士の交流の機会を設け、安心して悩みを打ち明けたり、生活の知恵や経験を共有できるグループ相談会を実施した。

実施回数 10 回 参加者 114 名

## 1-2 その他相談事業（自主事業）

- ① 就業相談（電話・面談）
- ② 生活相談：電話・メール等相談

## 2 公益目的事業

### (1) 連絡提携事業

地区のひとり親の会(地区会)との情報交換、地区会相互の交流などを行った。

また、一般財団法人全国母子寡婦福祉団体協議会(全母子協)及び加盟団体である都道府県、政令市の母子寡婦等福祉団体との連携を図った。

① 地区会の会長会を開催し、当法人からの情報提供と意見交換を行った。

会長会 2回開催(7月24日、12月18日)

(当法人に登録している地区会のある区市 20区市)

千代田区、中央区、台東区、墨田区、品川区、大田区、渋谷区、中野区、杉並区、練馬区(10区)

三鷹市、小金井市、小平市、東村山市、国立市、福生市、東大和市、多摩市、西東京市、羽村市(10市)

② 第75回関東地区母子寡婦福祉研修大会

9月 開催：埼玉県 会場：誌面開催

【新型コロナウイルス感染拡大のため誌面開催】

③ 令和4年度全国母子寡婦福祉研修大会

11月5日(土)6日(日)開催：滋賀県 会場：ピアザ淡海

【新型コロナウイルス感染拡大防止のため県外はオンライン開催】

### (2) 東京ムーヴ事業

ひとり親の子どもたちは、経済環境や親の時間的制約などの事情により、日本に伝わる伝統的な年中行事や季節イベントに参加したり、家庭でお祝いする機会が少なくなっている。さらに新型コロナウイルスにより、ふたり親家庭の子どもたちとの「経験格差」が広がり、ひとり親の子どもたちが、日本の伝統行事に対する興味・関心が薄れていくことが危惧される。

親が子の成長を祝い、これからの健康を祈る年中行事は、子どもたちにとって貴重な経験となる。古きよき伝統行事に触れ、季節の移り変わりを肌で感じられる自然体験をすることで、子どもたちが視野を広げ、健やかに成長してくれることを願い、令和3年11月から「子どもの年中行事イベント」を毎月開催した。

① 端午の節句お祝いポニー乗馬体験 取手市小貝川ポニー牧場

5月14日 【申込47家族のうち、抽選で12家族25名参加】

② 夕涼み&ほたる観賞会 多摩川中央公園他

6月12日 【申込57家族のうち、抽選で13家族27名参加】

- ③ オフィスや面接にふさわしいスキンケア&メイク術 ※オンライン開催  
6月17日 【定員30名のところ44名の申込、全員参加 (株)ハーバー研究所協力】
- ④ 七夕の集い絆キャンプ in 白樺高原 立科白樺高原ユースホステル  
7月9-10日【申込44家族のうち、抽選で10家族26名参加】
- ⑤ 神宮外苑花火大会 ご招待  
8月20日 【申込200組のうち、抽選で15組32名の親子をご招待】
- ⑥ 十五夜お泊り会  
東京セントラルユースホステル、川崎市黒川青少年野外活動センター他  
9月10-11日【申込59家族のうち、抽選で7家族20名参加】
- ⑦ 秋の味覚を味わうポニー乗馬体験 取手市小貝川ポニー牧場  
11月3日【申込79家族のうち、抽選で13家族28名参加】
- ⑧ 七五三を祝う会 飯田橋東社協会議室、東京大神宮他  
11月13日【申込48家族のうち、抽選で17家族37名参加】
- ⑨ クリスマスお泊り会  
東京セントラルユースホステル、川崎市黒川青少年野外活動センター他  
12月10-11日【申込42家族のうち、抽選で9家族19名参加】
- ⑩ 親子で伝統的なお正月遊びを極めよう 東京セントラルユースホステル他  
1月7日【申込30家族のうち、抽選で14家族29名参加】
- ⑪ グループ対抗手作り鬼で節分バトル ※子どものみのイベント  
代々木公園、レストランラブルーレット他  
2月4日【申込34名のうち、抽選で19名参加】
- ⑫ 街かど雛めぐりをしてコラージュをつくってみよう  
JR岩槻駅周辺、飯田橋東社協会議室  
3月4日【申込17家族のうち、抽選で9家族19名参加】

3 招待イベント（令和4年4月～令和5年3月実績）

【企業等からのご招待】※当協議会申込受付分

5月8日 読売巨人軍 プロ野球公式戦 観戦ご招待  
申込 158 家族 316 名 当選 48 家族 96 名

8月11日 PUREJ 女子プロレス試合 観戦ご招待  
申込 39 家族 85 名 当選 12 組 27 名

10月26日 日本音楽文化協会様より国際親善交流特別演奏会ご招待  
申込 27 家族 55 名全員をご招待

11月27日 日本青少年文化センターからふれあいコンサートご招待  
申込 17 家族 35 名 当選 12 家族 25 名

12月11日 マツダロードスターサンタドライブご招待  
申込 56 家族 121 名全員をご招待

12月18日 PUREJ 女子プロレス試合 観戦ご招待  
申込 24 家族 50 名 当選 14 組 30 名

3月24日 日本音楽文化協会様より第78回定期演奏会ご招待  
申込 19 家族 41 名 当選 9 家族 19 名

- 4 夢を応援基金奨学金（運営主体：全母子協、ローソン）の募集・選考事務  
都内の中学3年生から高校3年生に最長4年間、月3万円の奨学金を給付  
応募 187 名、一次選考合格 29 名  
二次選考合格 22 名を選考委員会に推薦、最終合格者 21 名

5 企業等の社会貢献活動

(1) 就活用レディーススーツのレンタル

フランス系ファッションブランド会社から無償提供されたレディーススー  
ツを希望者に貸与した。貸出し 49 名（令和5年3月末累計）

(2) 資格取得応援プロジェクト

事業対象承認 40 人 資格取得合格 20 人

### (3) その他経済支援

値上げラッシュに負けるな応援 2022 Amazon ギフト券 1万円分

申込 293名 当選 60名

## II 機関運営その他

### 1 機関運営

- 6月8日(金) 第1回理事会
- 6月25日(土) 定時(第1回)評議員会
- 7月14日(木) 第2回理事会(みなし決議)
- 7月22日(金) 第2回評議員会(みなし決議)
- 7月24日(日) 法人あり方検討委員会
- 9月14日(水) 第3回理事会
- 10月5日(水) 第3回評議員会(オンライン会議)
- 11月22日(水) 第4回理事会
- 12月3日(土) 第4回評議員会(オンライン会議)
- 1月12日(木) 第5回理事会
- 1月22日(日) 第5回評議員会(オンライン会議)
- 3月14日(火) 第6回理事会(みなし決議)
- 3月22日(水) 第6回評議員会(みなし決議)

### 2 公益財団法人化への取組

当協議会の社会的信認を高めることにより、ひとり親家庭支援事業の一層の伸展が期待できるとの検討結果から、一般財団法人から公益財団法人への早期の転換に向けて取り組んだ。

- ① 法人あり方検討委員会で公益法人化のメリット・デメリットについて議論
- ② 第3回理事会及び評議員会で公益法人化の方針決定、定款改正(4月1日施行)
- ③ 公益法人インフォメーションでの正式申請 2月10日(金)
- ④ 公益認定等審議会 3月15日(水)
- ⑤ 都知事名の認定通知 4月1日(土)

### 3 令和4年度東京都予算への要望活動

9月2日 東京都に以下の5項目を要望した。

#### 一 ひとり親家庭に対する経済的支援について

- 1 ひとり親家庭への食料品等の提供を毎年継続して実施されたい。
- 2 子ども食堂について経済的支援
- 3 児童扶養手当について、子が進学する場合、卒業時まで継続

- 4 児童育成手当について、子が進学する場合、卒業時まで継続
- 二 ひとり親家庭が安心して暮らせる住まいの確保と子育て支援について
    - 1 都営住宅への優先入居の条件を改善。また「こどもすくすく割」減免期間延長
    - 2 民間住宅の家賃に対する補助金の検討
    - 3 保育所及び学童クラブに入所を必要とする場合に優先的に入所
- 三 ひとり親家庭の就労に対する支援について
    - 1 ニーズの高い技能講習、職業訓練、資格取得に対する経済的支援を一層拡充
    - 2 「母子家庭の母等向け訓練」を拡大するなど職業訓練の機会を広げる
    - 3 特定求職者雇用開発助成金の対象を正規雇用採用された非正規雇用のひとり親に拡大されたい
    - 4 特定求職者雇用開発助成金の対象枠を20歳未満の子を扶養から23歳未満の子を扶養に拡大されたい。
    - 5 ひとり親の雇用促進の普及啓発を強化、働きやすい環境の整備と啓発
- 四 ひとり親家庭の母子・父子の相談窓口の充実について
    - 1 ひとり親支援施策を十分に周知し、利用時間の拡大、身近な相談窓口の設置
    - 2 法律相談、養育費相談、面会交流支援等、増加している支援を拡充
    - 3 ひとり親の会（地区会）に対して、区市による一層の活用、支援、助成
- 五 公共的施設等における自動販売機の設置拡大について
    - 1 東京都ひとり親家庭福祉協議会が設置する自動販売機の設置台数の維持、拡大
    - 2 区市町村及び関係団体に対して地区のひとり親の会（地区会）が1台でも多く設置運営できるよう働きかけ
    - 3 都内の民間事業者に対して東京都ひとり親家庭福祉協議会及び地区会による自動販売機の設置運営への必要な協力